

# とちぎだより通信

## ○ユネスコ無形文化遺産の祭り



とちぎには世界に誇る二つの祭りがあります。「烏山の山あげ行事」は毎年7月第4土曜を含む3日間開催され、450年以上の伝統を誇る絢爛豪華な日本最大級の野外劇です。また、「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」は、豪壮な彫刻屋台が向かい合い、おはやしの競演を行って「ぶっつけ」が見どころで、毎年10月上旬に開催されます。

## ○国指定伝統的工芸品 益子焼



力強い美しさと温かな手触りが特徴の益子焼は、良質な陶土が益子で産出されることや大市場東京に近いことから発展を続けてきました。毎年ゴールデンウィークと11月3日前後には大規模な陶器市が開催されます。近年では若手作家が増え、おしゃれな陶器も生み出されています。

# とちぎの観光

## ○日本三大美肌の湯 喜連川温泉



「もとゆ温泉」を中心に多くの温泉が点在する栃木県さくら市の喜連川温泉は、硫黄、塩分、鉄分を含む国内でも珍しい泉質です。肌への効果があると言われ、「日本三大美肌の湯」の一つに数えられています。日帰り温泉が多数あり、遠方からも人が集まる人気の温泉地です。

## ○県内唯一の重要伝統的建造物群保存地区を有する「蔵の街 栃木市」



栃木県栃木市は日光例幣使街道の宿場町として、また江戸との舟運による物資の集散地として栄えました。当時の繁栄をしのばせる歴史的な建造物が数多く残されており、「蔵の街」として知られています。趣のある街並みを散策し、昔ながらの雰囲気を味わってください。

## 知事からのメッセージ



栃木県知事 福田 富一

このたび、栃木県の魅力・実力などを分かりやすく紹介する広報紙「ふるさととちぎだより」を創刊いたしました。栃木県の旬な情報を、県内外で活躍されている本県出身の皆さまを中心に定期的にお届けします。皆さまにおかれましては、ふるさと「とちぎ」をより身近に感じていただくとともに、お知り合いやご友人など、多くの方々にとちぎの魅力をお伝えいただければ幸いです。

## とちぎ未来大使紹介



福田 遼さん (那須塩原市出身) 益子 卓郎さん (大田原市出身)

## U字工事

栃木県立大田原高校の同級生による漫才コンビ。栃木弁での癒し系のほのぼのとしたかけ合いや、「ごめんねごめんね～」といった返して笑いを誘います。テレビやイベントなどで大活躍のお二人、とちぎを熱くPRしていただいています。

## とちぎの魅力を丸ごと伝える アンテナショップ

「とちまるショップ」は、本県のえりすぐりの「味」「や」「もの」を販売するアンテナショップ。魅力あふれる県産品やとちぎの食を楽しめる飲食メニューのほか、県や市町の魅力を伝える観光情報やイベント、6次産業化商品の支援など、日々とちぎの魅力を発信しています。



東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ イーストヤード4階 TEL:03-5809-7280

## ご意見をお待ちしています

はがきに、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・感想・今後取り上げてほしいことを記入の上、次の宛先までお送りください。  
〒320-0818 栃木県宇都宮市旭1-4-30  
新朝プレス「ふるさととちぎだより」係  
または右記二次元コードにアクセスしてください。



ご意見をいただいた方の中から抽選でとちぎの梨「にっこり」詰合せ5kgを20名様にプレゼントいたします。応募締切 2019年8月31日必着

問合せ

栃木県県民生活部広報課  
〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20  
TEL:028-623-2192 FAX:028-623-2160



栃木県の  
県外事務所

【栃木県東京事務所】TEL:03-5212-8715  
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館 11階  
【栃木県大阪センター】TEL:06-6314-6123  
〒530-0027 大阪府大阪市北区堂山町3-3 日本生命梅田ビル2階

ふるさと  
“とちぎ”  
だより

TOCHIGI DAYORI

創刊号

～とちぎの魅力発見!!～

COVER PHOTO: おしらじの滝  
栃木県矢板市下伊佐野

SNSなどで話題のスポット「おしらじの滝」。幻の滝と呼ばれ、木漏れ日と相まって神秘的な雰囲気が漂っています。山の駅たかはらから那須塩原方面へ車で約5分の所から、人が踏み固めてできた道を10分程度下るとその姿を現します。普段は沢の水が少ないため、前日に雨が降るなどの条件がそろわないと見る事ができません。

